

魚津ロータリークラブ会報誌

2015-2016年度 R I 会長 K.R. ラビンドラン

2015-2016年度 魚津RC会長 羽田 陸朗



第2992回 例会 2015年10月30日

- 1、点鐘・握手
- 2、ロータリーソング「我等の生業」
- 3、ゲスト並びにビジターの紹介
- 4、地区大会で表彰された表彰の伝達

・杉野芳宏様「ロータリー在籍45年特別表彰」



先日(10月25日)地区大会(白山市)に出席しました。
その時、在籍45年超の表彰を頂きました。
大変盛大な大会でした。
昔のガバナーの方々に逢い、大変有意義でありました。
皆さん！ありがとうございました。

・根岸 朗様「長寿ロータリアン 満90歳以上特別表彰」



皆さんのお陰で毎年のようにお祝いして頂いてありがとうございます。
明年1月28日に94歳になります。
ありがとうございました。

・生駒晴俊様「ロータリー在籍30年特別表彰」 受賞



5、誕生祝



・10月30日 ぴたり賞。中島久義さん
私の為に例会を行って頂きましてありがとうございます。
今日は25915日目の生誕記念日です。
もう10年で5000日位です。
10年はあっという間です。それまでよろしくお願ひします。



・11月1日 生駒夫人
先程は、永年勤続30年、いつの間にやら30年経ちました。
今日は家内の誕生日を祝って頂きありがとうございました。
今朝、家内に「今日ロータリークラブでお祝いの花を頂くよ」と言ったら、「それじゃ、私が行かんならんけ～」と言った。

家内は平成26年1月8日道路で転んで右腕と大腿骨を骨折し、手術を受けました。
とにかく色々ありました。今日もこれから帰るといったら、「自分も連れていってくれ」と言いました。行くごとに「連れて行ってくれ」と言います。
「あなた、長い間わたしをうっちゃって、どこへ行くがけ」と今朝も言われました。
おかげさまで元気しております。お祝いありがとうございました。

6、会長挨拶(羽田会長)



- ・皆さん、こんにちは。中島さん、生駒夫人さん、誕生日おめでとうございます。
- ・先日地区大会に行きました。表彰を受けられました3名の皆さんおめでとうございます。盛大な地区大会でした。
- ・根岸さんが出席されたら、魚津の人はしゃんしゃんとした人ばかりだと表現できたのにと残念でした。来年はぜひ。
- ・今回は西ロータリークラブの皆さんと一緒にサンルート車で来ました。車内での会話を楽しむことができました。
- ・次の研修会も大勢の会員の参加でロータリーを楽しみましょう。



7、幹事報告(川岸幹事)

- ・ガバナー事務所より地区大会参加の御礼
- ・11月の例会案内一別紙の通り
- ・11月SAA補助は寺田さん、池上さん、辻さんです。
- ・親睦台湾旅行のご案内一別紙の通りです。
12月上旬に参加者の確定をいたしますので、よろしくお願い致します。
- ・理事会の報告一別紙の通りです。



8、出席報告(仙丸出席委員長)

- ・本日の出席 23名。欠席者 5名。出席率 82.14%。
- ・2990回のメイクアップは、愛宕さん、寺田さん、中田さん
修正出席率は 85.71% でした。

9、ニコボックスの報告(坪野ニコボックス委員長)

- ・杉野芳宏さんから、地区大会で「在籍45年特別表彰」を受賞しました。
- ・生駒晴俊さんから、地区大会で「在籍30年特別表彰」を受賞しました。
- ・野沢良成さんより、明日(10月31日)第一回ガバナー補佐予定者会議へ行ってきました。会場は福光です。また、明日午前中に文化協会の立場で魚津市美術展の開会式と表彰式に行ってきます。



10、委員会報告

- ・広報委員会(寺田広報副委員長)より
毎週広報紙を出していますが、インターネットのホームページでも紹介しています。皆さんご覧になっていますか？
- ・この度、「ロータリージャパン(ロータリーの友)」-「ホームページ」-「魚津ロータリークラブ」とクリックして下さい。
新たに手続きをしましたので、昨日より見れるようになりました。
- ・共栄印刷の宮崎さん(西RC会員)にお願いして、更新しますので見て下さい。

11、本日の卓話 仙丸和幸さん(YKK AP(株)魚津支店 支店長)



- 「社会が求めるこれからの住宅」
- ・日本の社会問題として
 - (1) エネルギー問題があり、省エネが求められています。
 - (2) 高齢化社会を迎え、健康問題があります。
 - (3) 老朽化や維持管理など社会資本整備の問題があります

- ・住宅の省エネ問題については、2020年より省エネ基準の適応化がされ、ゼロ・エネ

ルギー化が決まりました。

・それは2013年改正されるまで、省エネ基準の適応化に義務ではなく、適合率が低かったのです。

・新設住宅で2020年以降何が起るのか？



(1) 全物件で、省エネ基準クリアが絶対条件になります。

(2) 住宅市場全体が、断熱においてボトムアップする。

その為、確認申請時に「断熱」を考えた設計が必須
施主の選択時に「差別化」が困難になります

* 省エネ基準をクリアするだけでは「差別化」できない！

* 一次エネルギー消費量＝それぞれの一次エネルギー消費合計－太陽光等発電量

・[中古住宅]2020年以降に何が起るのか？

(1) 中古住宅の売買時に”診断”が義務化の動き

(2) H25年基準を満たしていないと、2020年には資産価値が大幅に低下！

新築時から、将来の資産価値を見すえた家づくりが必要である

・エネルギー基本計画ではZEH(Zero・Energy・House)の普及を明記されたので、ゼロエネ基準の住宅が中心になり、標準的ハウスになる。

・ZEHの定義(案)として、家の高断熱設備により、20%以上削減し、太陽光等発電を使って、75～102%削減で、ゼロエネルギーに近づきます。

* 家でのエネルギー使用を20%へらし、家で使う以上発電することです。

・省エネ基準改正による今後……ゴールは！

低炭素住宅により、10%削減。

住宅の建設から解体までのエネルギーをゼロにする。

* ゼロエネルギー・ハウスを目指している。



・省エネ基準クリアのための家づくりの考え方

(1) 省エネ設備優先の住宅

(2) 躯体断熱がしっかりした住宅

どちらも”基準”は満たせるが……まずは、しっかりした躯体断熱を優先して家づくりが重要である。

・まずやるべきことは「窓」の高断熱化です。少ない投資でエネルギーを減らします。

夏場には、窓から熱が74%入る。

冬場には、窓から熱が半分以上(52%)出る。

・これからは、省エネだけでなく、”快適で健康に長く暮らせる”家づくりです。

まずは、窓の断熱化をしましょう！

* 「家」が担うべき最も重要な役割は、一年を通じて快適に過ごすために「熱の流出・流入」の制御が大切です。

・夏には窓から”熱”が74%流入し、熱中症患者の発生が高まります。

特に、65歳以上の入浴中の死亡リスクが高いのです。

* 窓で、夏の暑さを遮り、住宅内での熱中症を防ぐことが必要です。

・冬には窓から”熱”が52%流出し、高齢者の死亡リスクが高まります。

特に、高齢者の入浴時が最も危険です。

- ・アルミ窓から樹脂窓に変えると、52%から19%、熱損失を削減する。
家全体でも約3割、削減できる。
- ・アルミ樹脂複合から樹脂窓にすると、34%から25%削減される。
家全体でも約1割、削減できる。
- ・冬には樹脂窓複合(2枚)ガラスから樹脂窓トリプロ(3枚)にすると熱流出を
27%から16%に削減します。家全体でも11%削減する。
* 住宅内の温度を均質に保つので、ヒートショック予防します。

・地域と疾患による死亡率の関係

- 年間を通じて室内温度変化の少ない北海道と、変化の大きい九州
北海道は、心疾患、呼吸器疾患などは少なく、九州は多い結果が出ている。
入浴中の死亡リスクは富山県は下から3番目と高い。
* 住宅内の温度を均一に保つと疾患リスクを低減する。



- ・「樹脂窓」なら、コールドドラフト現象を抑制する
冷たい空気が窓から下がって風が起こる現象です。
* 冬の窓辺の足元の寒さを緩和し、不快さを軽減する。

・「樹脂窓」なら、結露の発生が違います。

- アルミ結露しますが、ガラスを2枚から3枚、オール樹脂にすると、少なくなります。
アルミ樹脂複合窓は、フレームに大量の結露が発生します
* 樹脂3枚のガラス窓をお勧めします。

・人と家の両方に悪影響を及ぼす結露

- 躯体内結露による内部劣化と建物が弱くなる。
アレルギーや健康に被害を及ぼします。
* 少しの結露が発端となり、健康と資産価値を損なうこととなります。

・樹脂窓は世界のスタンダードです。

- ドイツは60%、アメリカは67%、日本は13%、北海道は90%です。
ロシア、東南アジアでは、樹脂窓が作られています。
* 実績が証明された「樹脂窓」は安心してお使いいただけます！

・樹脂のフレームにガラスが3枚の窓サッシは、熱貫流率が0.91です。

- 樹脂のフレームにガラスが2枚の窓サッシは、熱貫流率が1.48です。
アルミ樹脂複合窓(Low-Eガラス)は、熱貫流率が2.33です。
アルミ複層窓(一般複層)は、熱貫流率が4.65です。
* 省エネ基準、ゼロエネハウスは樹脂を使わないと達成出来ないと思います。

・海外では、各国の気候風土や文化に合わせたマルチローカルな商品開発を展開。

- 省エネ・ハリケーンやテロ対策を考慮した開発が行われています。

* 「樹脂窓のチカラ」で、快適で健康に長く暮らせる家づくりをしましょう！

・活発な質問がありましたが、特に「空気の換気」について多くありました。

- 答えは、空気の換気は法律で決められており、問題がありません、でした。

[あとがき]

- (1) 熱中症で死者が報道されたほど暑い夏が終り、大陸からの寒気団と共に「初雁」の到来を告げる晩秋になりました。
- 「初雁」は秋の季語です。旧暦の九月のことですから、新暦では10月から11月です
- ・万葉集第1614 「九月(ながつき)の その始雁(はつかり)の つかいにも おもうころは きこえこぬかも 」と歌われています。
 - ・また、関東管領・上杉謙信が1572年(天正元年)の秋、魚津城で武士(もののふ)の心を歌っています。



「武士(もののふ)の
鎧(よろい)の袖を
かたしきて
枕に 近き
はつかりの声」

(魚津市大町小学校)

- ・それから10年後、1582年(天正10年)6月3日織田軍に攻められ落城しました。

(2) ポール・ハリス語録—その3

- ・偉大な運動を研究すると、その発展は、個人の発展と似ているように思われます。形成期は初期です。若い心は、感受性に富み、成熟すると、落ち着いて来ます。運動も年を経ると、定型化するようになります。伝統が正当な判断力の行使を妨げます。先例を尊重するようになり、先例が必要以上に重要性を帯びてきます。価値も無いし、不合理な事が、今までそうであったから、という理由だけで継続されます。
- 存在理由が、かつてあったとしても今はないことが明らかでも、誰も先例をあえて破ろうとしません。形式に精神が伴わないようになっているのです。
- (米国イリノイ州シカゴで開かれた、1930年RI国際大会でのメッセージ)

- ・先の広報委員会の報告(寺田副委員長)にありましたが、この度「ロータリーの友」より出ています「ロータリー・ジャパン」のホームページに「魚津RCの広報」を載せることになりました。それにより全国の多くの人達がアクセスし、自由に見ることが可能になりました。
- ・私達広報委員会では、これまで緊張して読者の皆様に「有様」を伝えて来ましたが、これからは、全国、多くの読者に読んで、喜んで頂ける「充実した広報紙」にしたいと思っています。
- * 皆様のご協力をお願い致します。